

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/03/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

戻り高値更新後に反落の不安定な地合

NY原油先物相場は、1バレル=80.94ドルまで上昇した後、76ドル台まで反落する展開になった。3月入りしてから発表された中国の良好な経済指標、ロシア産の供給不安を手掛かりに、1月27日以来の高値を更新した。しかし、3月7日にパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長がタカ派の発言を行うと、米金利上昇・ドル高・株安が原油相場の上値を圧迫し、改めて約2週間ぶりの安値を更新している。結果的に最近のボックス相場が踏襲されている。米原油在庫は11週間ぶりに減少に転じた。

一般的に新規売買材料が乏しく、明確な方向性を打ち出せていない。需要拡大期待があるものの、足元の需要環境に大きな変化が認められる訳ではなく、決定打を欠いている。中国の需要環境に関しても、楽観ムードから80ドル台に乗せた直後に一時74.77ドルまで急落するなど、評価が定まっていない。米経済も足元では底固さが目立つが、そのこと自体が強力な利上げ対応を促すことでリセッション（景気後退）を引き起こすリスクが警戒され、原油相場は上値を圧迫された。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（3月3日時点）は、原油が前週比169万バレル減、ガソリンが113万バレル減、石油精製品が14万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

ボックス下限では下値サポートか、決め手難の地合が続く

70ドル台前半から80ドル台前半のボックス相場が続いており、決定打を欠いている。比較的短い時間間隔で上昇と下落を繰り返しつつ、明確な方向性を打ち出せてない展開が続いている。70ドル台前半で物色妙味が高まる一方、80ドル台前半から更に相場を大きく押し上げることは難しい。ボックス相場を前提とした対応になろう。

2023年は中国の需要拡大が着実に進むか否かが焦点になるが、評価が定まっていない。月初は2月の製造業とサービス業のPMIが良好な数値になったことで、中国の石油需要拡大に対する期待感が強まった。しかし、3月7日に発表された1~2月期貿易統計によると、輸出が前年同期比6.8%減、輸入が10.2%減と低調な数値になっている。世界経済の減速で輸出が伸び悩み、その影響で原材料や部品などの輸入も抑制されていることが確認できる。15日に2月小売売上高や鉱工業生産が発表されるため、ここで中国の需要拡大に対する信頼感を高めることができるか否かが注目される。

また、米国に関しては強力な利上げがリセッションを引き起こすリスクが警戒されている。14日に2月消費者物価指数が発表されるため、ここで改めてドル高・株安圧力がみられるか否かが焦点になる。一段と強力な利上げ対応が必要との見方が優勢になると75ドル割れが打診される一方、イベントリスクを無難に消化できれば下値が固まり易くなる。

また、14日には石油輸出国機構（OPEC）、15日には国際エネルギー機関（IEA）月報が公表される。需要見通しの修正状況、今後の需給環境についてどのような見通しや報告が示されるかにも注目したい。

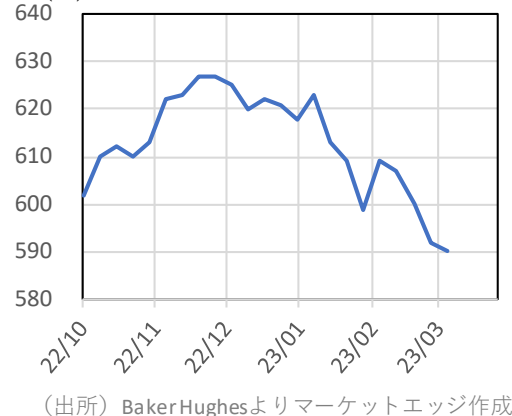
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

